

# びわ湖トラスト親子環境学習講座

～びわ湖源流の森観察会 春～ 報告書



認定NPO法人 びわ湖トラスト

実施日 : 2022年6月4日(土)  
 後援 : 大津市教育委員会、巨木と水源の郷をまもる会  
 協賛 : 公益財団法人 平和堂財団  
 参加者 : 12組 27名(大人:14名・中学生:1名・子供:12名)・・・欠席 1組3名

スタッフ: 【講師】龍谷大学農学部 三浦先生  
 【ガイド・講師】巨木と水源の郷をまもる会 4名  
 【スタッフ】トラスト 4名

※ 本年度も新型コロナウイルス感染症対策として、定員を減らして実施。

※ 120名程の応募があり、抽選を行いました。

## 行程

8:00 大津駅発  
 8:25 JRおごと温泉駅発  
 10:00 山帰来着  
 里山観察  
 オリエンテーション  
 13:00 昼食  
 13:30 下山・山帰来着  
 とち餅試食・講義  
 16:00 解散、バス・自家用車で帰路へ



今回は初めてトチノキを観察する前に、山帰来に近い場所にある、カキツバタのある里山観察を行いました。



この土地は昔は田んぼとして使われていた土地ですが、農業の近代化によってあまり豊かな土地ではないので、現在は農地として使用されていないという事でした。カキツバタは環境省レッドリストの準絶滅危惧となっていますが、シカが食べてしまう恐れがあり、柵をして食べられないように守っているそうです。



里山の観察のあとは登山時の注意事項を聞きました。ハチ・ヒル・ダニなどの対処法を聞いた後にストレッチを行いました。その途中、ウスバシロチョウが紛れ込み、皆で観察。人が近づいてもすぐに逃げなかったので、近くで写真を撮ることが出来ました。少し透けた羽が見え、美しい蝶でした。

山帰来のそばのトチノキが見やすい位置に花を咲かせていたので、ここでトチノキの花について説明を聞きました。



三浦先生から杉にからんでいるツタとツタウルシの見分け方や、ツタウルシについての注意があり、大宮神社に皆で手を合わせてから、山に入りました。(ツタウルシの葉は、三枚が一枚のようになっています)

堰堤(えんてい)までの杉林を歩く中で三浦先生からユズリハとハクウンボク、熊はぎの紹介がありました。堰堤からは花咲くトチノキの樹冠やタニウツギ、ツルアジサイの花が見れましたが、安全に渡ることが最優先なので、その場での紹介は避けました。

堰堤を渡り終わると細い尾根の急登です。アオハダの木がある休憩場まで一気に上がりました



が、参加者の皆さん、特に小学生は難なく登り切りました。

小休憩のあと、急斜面をトラバースしてトチノキ巨木林に入りました。はじめに、琵琶湖に至る水が地面から滲みだすその場所を見てもらいました。水の冷たさ、すぐに小さな流れができていくことに皆さん驚いている様子でした。さて、目的地に着きましたが正午も過ぎていたのでまずはお弁当です。平なところを探しつつ、散らばってお弁当を広げました。



30分ほどのお昼休憩のあと、緑の中で集合写真を撮り、そのまま清水さんからトチノキと人々の関わりについてのお話がありました。自分たちがどういう場所に立っているのかわかっていただけだと思います。

ようやくトチノキの巨木に触れてもらう時間です。テツカエデのトンネルをくぐって、一際（ひときわ）立派な登れるトチノキに到着。子どもたちには木登りに挑戦してもらいました。地面から4m以上ある巨木の又からは、きっと素晴らしい景色が広がっていたことでしょう。

帰りは、上りと別のルートをとりました。下山と言いつつ、はじめに少し登るので参加者からは「まだ登るの？」と不安の声がありました。

心地良い風吹く尾根を下っている途中、三浦先生からギンリョウソウやブナの芽生えの紹介があり、子どもたちが探してみると案外たくさん生えていて、写真を撮ったりしてゆっくり歩きました。

最後にもう一度細いトラバースがあり、堰堤に帰ってくる直前の斜面では何人かが軽く滑ってしまいました。神社横の林では、杉の古い株の上で大きくなったリョウブに注目しました。

全員無事に道路にもどってきて、大宮神社に感謝し、栃餅の待つ山帰来へと帰って行きました。



山帰来に戻ってからは、栃餅についての学習です。大変な手間をかけて栃餅を作ることを学び、前日に巨木と水源の郷を守る会の方が作ってくださったものを試食しました。普通のお餅と比べてちょっと癖があるので嫌がる子がいるのかと思いましたが、皆パクパク食べてくれました。



その後は山帰来の中で三浦先生に里山で見たものについての復習を行いました。蝶やツタの名前をしっかりと覚えていた子供達の記憶力には脱帽でした。

今回のこの観察した植物について、参加者がそれぞれ自身で深く掘り下げて調べてくださるといいなと思います。

朝早くからの集合や山登り、そして講義と盛りだくさんのプログラムはハードだったようで、帰りのバスではほとんどの方が寝ておられました。一日動いて、滅多に行けない場所へ行き、観察。たくさんのお話を吸収して、みなさん満足してくださったようで、アンケート回答も満足度が高いようでした。